

PHR 協会のチュートリアル開催（チュートリアル3）

開催日：2019年6月6日（木）17時20分～19時20分

場 所：第1会場（熊本市民会館、大ホール）

概 要：

(一社)PHR 協会は、2012年に設立後、毎年1～2回の講演会・理事会・IHMS 委員会などで PHR の検討を行ってまいりました。その中で、「個人の健康・医療・介護データなどを総合的に管理し、経時的に参照することにより、個人の健康増進や疾病の予防・管理・治療などを通して、個人の健康増進を図る」ことを PHR の目的とした「PHR の定義」(<http://www.phrj.org/materials>) をもとに、医用画像・波形情報を含む経年の個人健康データなどを総合的に管理・利活用し、「Personal Health Records を管理するシステム全体」で、PHR を活用するための検討を行っています。

このチュートリアルでは、

PHR 協会の理事・会員により「PHR の定義」をはじめとする協会の活動とこれからの目標をご紹介します。事例として、国が進める両立支援を、既存の連携ネットワークを PHR として活用する提案をいたします。

最後に、今大会から医療情報学会の学会長に就任される中島直樹先生に、11年の永きにわたり、継続されてきた「カルナプロジェクト」による糖尿病の疾病管理について昨年度までのAMED 研究事業を踏まえた内容とデータヘルス改革計画（PHR）への継続性の観点から、お話しいただきます。

+++++

プログラム

テーマ：「健康づくりに貢献する PHR」の流通・活用戦略の課題とその対応

Part1：(PHR 協会の理事・会員)

- ・医療/健康管理的側面：PHR の定義と PHR の活用方法に関する課題
- ・ビジネスモデル的側面：PHR のビジネスモデル・医療費 等の考え方

Part2：(PHR 協会の理事・会員)

- ・技術的側面：トータルの PHR のデータベース・ネットワークの提案
- ・法的・社会的側面：社会的コンセンサス獲得の一つの解としての PbD と PIA

Part 3：PHR 協会代表理事 織田進 (福岡県産業保健総合支援センター 所長)

福岡の既存の健康づくりネットワークを活用した PHR による両立支援の提案

特別講演：中島直樹先生 (九州大学病院 MIC センター長)

疾病管理と地域医療連携からの PHR への期待と、ヘルスデータ活用計画 (仮題)

参加費：無料、

医療情報技師ポイント：1 ポイント付与

(17 時 30 分以前に入場し、最後まで聴講された方のみに付与致します。)

参加申し込み：不要です。

URL：本チュートリアル専用ページ

<http://www.m-p-o.co.jp/phrj/2019tutorial/>

概要資料は、6 月 1 日以降、ダウンロードの準備ができ次第に掲載いたします。

多数のご参加をお待ちしています。